

平成13年度 文学部 授業計画表 [syllabus]

地3必

科目名 (英文名)	地理学演習 I Seminar on Geography I	2単位	(ふりがな) はせがわ 担当者	長谷川均	ひとし
授業のねらいと概要:					
自然地理学の調査方法、機材やPCの操作、論文作成の技術などを身につけることがゼミの目的である。 講義の他に発表と討論もおこなうので、重病や忌引以外の欠席は認めない。					
教科書と参考図書: 「卒論作成マニュアル」古今書院刊					
評価法: 発表内容、質疑応答の内容、出席点で評価する。毎回少なくとも1回は、各自がまとめて得た質問をしなければならない。 プレゼンと討論の技術も評価に入る。					
【授業計画】					
回数	授業内容とそれに必要な準備	回数	授業内容とそれに必要な準備		
	各自の興味に応じて内容を組み立てる。 また、受講生の数によって講義の内容を変更する。				
4~5月の予定	<ul style="list-style-type: none"> 受講生からの聞き取り。各自の興味の対象などに関して具体的な話に入る。 読むべき論文の紹介と、どの様に論文を読むのかを解説する。 調査の計画、方法などについて解説する。 文献検索、情報収集に関する講義と実習。 論文の書き方について指導し、完成までのフローチャート作り 長谷川が過去に作成した、あるいは現在取りまとめ中の論文を示し、まとめかたを解説する。 				
6~7月の予定	<ul style="list-style-type: none"> 秋の巡査(地理実習)で、調査地域のどこで何を調べるのか計画をたて、その調査の成果としてどの様な図、表ができるのかラフ・スケッチを示してもらう。 				
9月以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> 下記の様式に沿って、巡査レポートをまとめ発表する。 <p>※ 発表要旨の様式</p> <ol style="list-style-type: none"> 題名 研究史(あるいは、研究抄史) 地域の設定理由 類似のテーマで行った研究例があるなら、自分の研究テーマあるいは対象地域との比較について 研究や作業の方法について 今までに実施した室内作業と野外調査について 今までに収集した参考文献表 既に論文の目次を作成してある場合は、それについても提示する。 どの様な図を作成したか、あるいは作成する予定であるか 				
※注意	以上の項目について、レジメを作成し出席者に配布する。レジメは極力ワープロを使用して作成し、位置図なども必要に応じて載せること。また、発表当日は該当地域の地形図や野外調査で撮影した写真、作成した図などを持参し、他の受講生が研究地域を理解しやすいように努めること。レジメには題名、発表者氏名、発表日などを明記する。				
11月以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> 卒論のテーマについて 				